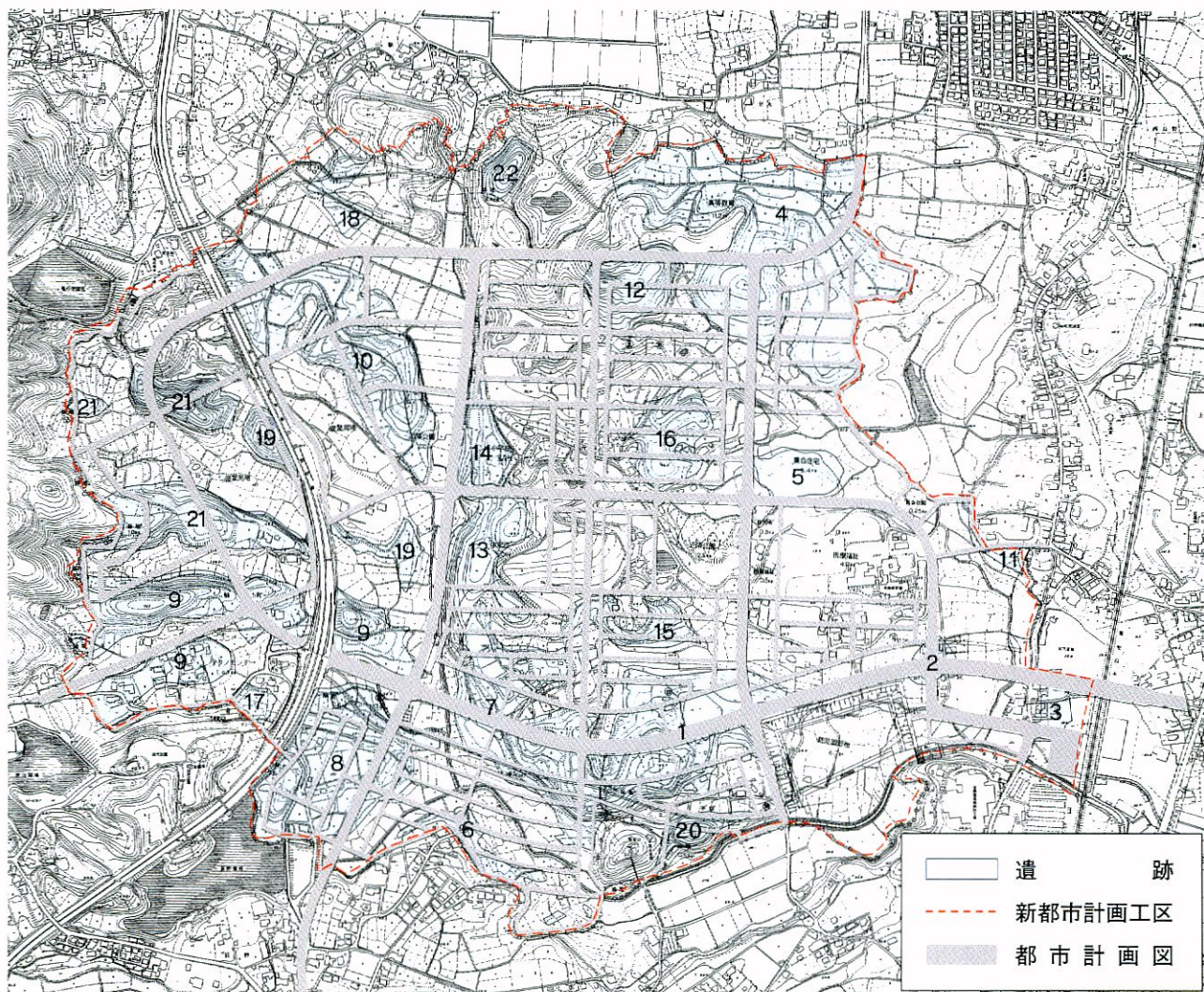


ゆび  
柚比遺跡群2

鳥栖市教育委員会



北部丘陵新都市計画にかかる柚比遺跡群

番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名
①	平原遺跡	⑨	柚比本村遺跡	⑰	田代公園遺跡
②	岸田南遺跡	⑩	柚比梅坂遺跡	⑱	三ヶ敷梅坂遺跡
③	長ノ原遺跡	⑪	今町大地添遺跡	⑲	うつろ坂遺跡
④	八ツ並金丸遺跡	⑫	今町共同山遺跡	⑳	平原古墳
⑤	今町岸田遺跡	⑬	大久保北遺跡	㉑	永田古墳群
⑥	安永田遺跡	⑭	今町梅坂西遺跡	㉒	梅坂古墳
⑦	大久保遺跡	⑮	梅坂炭化米遺跡		
⑧	前田遺跡	⑯	今町梅坂遺跡		

## 柚比遺跡群関連年表

年 代	時代	記 事	柚 比 遺 跡 群
BC30000 頃	旧石器時代	ナイフ形石器出現 細石器文化の出現	本川原遺跡、平原遺跡（ナイフ形石器） 長ノ原遺跡（細石刃）
BC9000 頃	縄文時代	（草創期）土器の出現	
BC4000 頃		（早期）押型文土器の出現	安永田遺跡、柚比梅坂遺跡（押型文土器）
BC2500 頃		（前期）轟式・曾畑式文化が成立	柚比梅坂遺跡（曾畑式土器）
BC1500 頃		（中期）大規模な貝塚が出現	平原遺跡（集石遺構、並木式土器）
BC1000 頃		（後期）土偶が出現、盛行し始める	岸田南遺跡（阿高式土器）
BC300 頃	弥生時代	（晩期）黒色磨研土器が西日本で盛行 突帯文土器が盛行	安永田遺跡
		朝鮮半島より水稻農耕文化伝来	
		（前期）環濠集落の出現	長ノ原遺跡（環濠集落）
BC108		（前期末）朝鮮半島より青銅製武器類伝来 漢の武帝、楽浪郡など4郡を置く 前漢代の文物が流入	平原遺跡、今町岸田遺跡（集落）
		成人用大型甕棺墓の出現	大久保遺跡（甕棺焼成遺構）
		（中期前葉）青銅製武器類・工具の国産開始	平原遺跡（初期青銅器鋳型）
		石斧（今山）、石庖丁（立岩）などの専業生産と交易の開始	
		この頃、倭に百余国あり（漢書）	大久保遺跡、フケ遺跡（甕棺墓地）
		（中期中葉）墳丘墓の出現	柚比本村遺跡（特定集団墓）
57		（中期後葉）国産武器型青銅祭器製作と配布の一般化 倭の奴国王が後漢の光武帝に使いを送り、金印を授かる 後漢代の文物が流入	安永田遺跡（青銅器工房集落）
	（後期前葉）鉄製農工具が普及し石器にとってかわる この頃より瀬戸内系の土器が北部九州に流入し始める		
147-188	（後期中葉）甕棺墓に変わって土壙墓・木棺墓・石棺墓が盛行 倭国が乱れ、卑弥呼を王に擁立する	平原遺跡（環濠集落）	
	（後期後半）各地の集落の環濠が一斉に埋められる	八ツ並金丸遺跡（集落）	
239	（後期終末）近畿系の土器が北部九州に流入を始める 卑弥呼が魏に使いを送り、親魏倭王の金印や鏡百枚等を授かる		
248	卑弥呼が死に、内乱の後、壺与が擁立される		
266	倭国女王（壺与）が西晋に使いを送る		
290 頃	（前期）国土の統一（大和王権）が進み、前方後円墳が出現する 方形周溝墓が普及	赤坂古墳（前方後方墳） 本川原遺跡（方形周溝墓）	
421	倭の五王が中国に使いを出し始める	平原遺跡（河川祭祀遺構）	
450	（中期）鉄製農工具の普及で農業生産力増大、つくりつけのカマドが普及し始める		
527-528	（後期）筑紫国造磐井と大和朝廷が戦う	剣塚、東田、庚申堂塚、岡寺（前方後円墳）	
538	百濟より仏教が公式に伝来 壁画系装飾古墳が盛行		
570 頃		田代太田古墳（装飾古墳）	
	この頃火君の勢力が伸長する 九州で須恵器の生産が活発になる	平原遺跡、梅坂炭化米遺跡（集落）	
	この頃、群集墳の造営がさかんにおこなわれる	永田古墳群、梅坂古墳群（群集墳）	
593	聖徳太子が推古天皇の摂政となる		
645	大化の改新		
663	白村江の戦い		
665	大野城・基肆城築城、軍団が設置される		